



広島国際学院  
創立78年



表紙写真 中学校軟式野球大会・選手入場

トップ交代、新たな時代へ

特集—バイオテクノロジーによる土壌・水質浄化研究……	2・3
高校部活動成績優秀者表彰……	3
学長就退任あいさつ……	4
各学部長・高等学校長就任あいさつ……	5
最新の研究成果を取り入れ有為な人材を育成 工学部……	6
学びの新境地を拓く 情報学部……	7
人気のアスレチック設備……	6・7
夢に向かい日々努力を重ねる 現代社会学部……	8
就職率100%維持を目指して 短期大学部……	9
高校から発信 高等学校……	10
学生時代の想い出と社会人になって思うこと……	11
研究室紹介……	12・13
大学進路状況……	14
自動車短期大学部進路状況……	15
高等学校卒業生進路状況……	15
第一回中学校軟式野球大会……	16
立町キャンパスクリスマスフェア……	16

広 報

第61号

平成17年4月1日発行

## バイオテクノロジーによる 土壌・水質浄化研究

—関西電力との共同研究—

工学部バイオ・リサイクル学科 教授 佐々木 健

### ① 廃棄物のリサイクルで「儲かる」

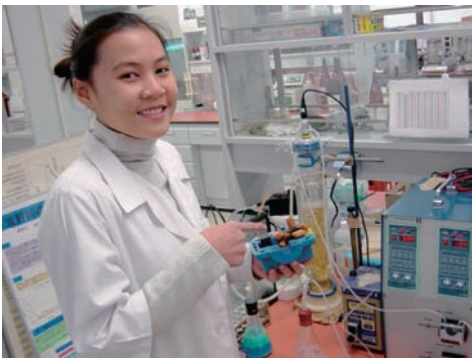
東京の港区、東京タワー周辺には、第何森ビルというビルが多く立ち並んでいる。いわゆる森グループのものだ。東京の一等地にビルをたくさん持っていて、六本木ヒルズもここが所有する。

ところで、このグループが廃棄物をリサイクル利用して大企業に成長したことはあまり知られていない。明治の初期、森グループの創始者は、千葉あたりの海岸に打ちよせられた藻（海草）をこつこつ拾い集め、これをバイオ処理（発酵）してコンポスト肥料（有機肥料）として売り、大儲けした。初めのうち、「藻を刈る」森氏を人々はあざわらったともいう。当時、食えない藻はだれも見向きもしなかったのだ。やがて藻で「もうかる」ことが伝わると、人々は競いあって森氏の真似をするようになった。千葉や東京周辺の海岸はきれいになった。しかし森氏はその先を見通し、すでに藻からヨードチンキという高価な医薬品を生産する技術を開発していた。折からの日露戦争で、傷病兵に大量のヨードチンキが必要となった。こうして森氏はさらに巨利を得、いまの森グループの基礎を築いたのである。「藻を刈る」ことが「もうかる」し、環境浄化にもなるという好例である。

重要な点は、森氏が常に人々の話に耳を傾けて情報収集に努め、得た利益を複数の大学に委託投資し、綿密な協議を重ねた上で共同研究を行い、安全な医薬品開発に成功したことだ。言葉のみで熱意がなく、金を投資するだけというのは多くの研究者、技術者は動かなかったのである。

廃棄物処理から起業して中堅企業へ成長した会社は広島にも数社ある。これらの会社の社長さんに共通することは、我々が広島の環境を守っているんだという熱意である。廃棄物リサイクル利用は、環境を保全し、世のため人のためになる、崇高な事業なのである。

### ② ヘドロで儲ける—ヘドロや汚染土壌から医薬品を—(関西電力との共同研究)



バイオ・リサイクル学科で研究するサビチャー・カラヤナミトラ院生(タイ・カセサート大学から留学)。指差しているのが磁性セラミック。後方はサビチャーさん研究のバイオリアクターシステム(写真1)

バイオ・リサイクル学科 佐々木研究室では7-8年前から、広島湾や太田川に広く蓄積したヘドロをバイオ技術で浄化しようと研究を重ねてきた。ヘドロのバイオ分解に成功し、有用菌である光合成細菌(クロレラに近い菌)を培養する技術開発にも成功し、さらにヘドロから有用物質である生分解性プラスチックを製造することにも世界で初めて成功した。

これらの業績を学会発表したところ、突然関西電力から共同研究の依頼があった。大阪湾周辺に広く蓄積するヘドロを浄化し、有効利用したいといわれるのである。関西電力が環境保全に非常に力をいれている企業であることは良く知っていた。関西ということで少し躊躇したのだが、担当の方がすばらしい熱意のある研究者で、「関西を代表する企業のひとつとして、何とか地元の環境保全に貢献したい」といわれた。我々の技術がお役に立つのであれば、と参画させていただくことにし



光合成細菌を固定化した環境を浄化する磁性セラミック(写真2)

た。

実はヘドロの浄化を発表した時、現在の磁性セラミック(鉄を含んだ多孔質セラミック)と有用光合成細菌を組み合わせたヘドロの浄化と重金属除去の基礎研究はすでに行っていたので、この技術を提供し、発展させることとした。磁性セラミック(写真2)に有用光合成細菌を特殊技術(これがノウハウ)で固定化保持し、ヘドロに散布しておく、光合成細菌は蛋白質やRNAという粘着物質を菌表面に蓄積し、重金属(砒素、水銀、カドミウムなど)を吸着除去できる。また、有用光合成細菌がヘドロの有機物を分解(食べる)し、悪条件下でも増殖するので、有機物汚染も浄化でき一石二鳥の利点がある。さらに、セラミックごと干潟や海底から電

磁石で回収すれば（そのため鉄を入れている）、セラミックに固定化した増殖菌体から、RNAやポリマーなどの医薬品原料や、いまはやりのコエンザイムQも回収できる。その上、重金属も別途回収できる。まさに一石三鳥、いや四鳥である。従来、このようなことは化学技術では実用上不可能であったが、我々独自のアイデアと技術でバイオ的に可能とした。さらに実用化研究を重ねている。ヘドロや汚染土壌で「儲かる」とすれば、皆、これらをうばいあって回収し、環境改善は一気に進むと期待されるのである。バイオ・リサイクル技術の典型的波及効果だ。

この技術を使い、図に示すような電磁石回収装置を用いると、湖や湾のよごれたヘドロを浄化でき、水質浄化も進行し、セラミックも効率よく回収することがわかった。現在その実用化に向けて研究中である。さらに効率的な浄化回収システムも考案しているが、発表段階ではない。当研究室での技術で、大阪湾や広島湾がヘドロのないきれいな海に蘇ることを念じて、ホットに研究を進めている。この技術をバイオレメディエーション（生物による環境修復）といい、将来はバイオ・リサイクル技術の要になると期待されている。

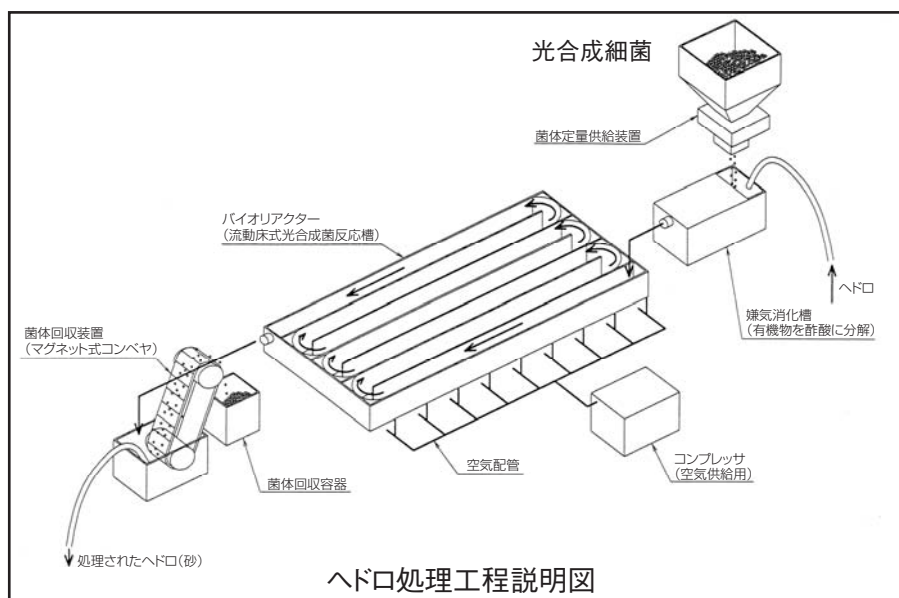


図 磁性セラミック回収型バイオリアクターシステム。マグネット式コンベヤで磁性セラミック（菌体・重金属付着）をヘドロより回収。

## — 栄 誉 を た た え る —

平成十六年度理事長表彰受賞者  
広島国際学院高等学校部活動成績優秀者

部 名	個人種目・団体別	受 賞 者	出 場 大 会 名	成 績
水 泳 部	男子200m背泳ぎ	前田 尚希(3年)	第52回中国高等学校水泳競技会	2 位
	男子100m背泳ぎ	前田 尚希(3年)	同 上	3 位
レスリング部	個人 120kg級	藤田 真也(3年)	第43回中国高等学校レスリング選手権大会	3 位
	個人 66kg級	平山 徹(2年)	同 上	3 位
	個人 60kg級	増原 浩俊(3年)	同 上	3 位
自転車競技部	ロード競技	中村 弦太(2年)	第36回中国地域高等学校対抗自転車競技選手権	2 位
	トラック競技	中村 弦太(2年)	同 上	3 位
		細川 康弘(2年)	同 上	8 位
吹 奏 楽 部	団体 吹奏楽の部		第16回全日本高等学校吹奏楽大会	優秀賞
	団体 吹奏楽の部 (高 校 の 部)		第45回全日本吹奏楽コンクール中国大会	金 賞

## 学長退任にあたって

ありがとう広島国際学院大学

は さい ひろみ  
葉佐井 博巳



今年私は、50年に及んだ教員生活に幕を引くことになりました。思えば、時代の流れか若いころは、大学の教員は研究第一と教育され無我夢中で研究に励みました。専門が巨額な金のかかる原子核物理実験系のため、全国共同利用研究所の大型加速器を使つての研究に参加しました。全国の大学の研究者で構成される共同研究の良さは、各自がそれぞれの責任を果たさなければ決して研究は成功しないことで、結果的にお互いを牽制し協力し合えることです。この共同作業の習慣は、後のテーマとなった「広島・長崎の原爆放射線の線量評価」にも役立ち、全国の関係ある分野の研究者が参画してくれました。今年でその仕事も一段落し、一定の評価を受けることができました。

さてこの大学では、10年間お世話になり、最後の4年間は学長として勤めてきました。この間に私立大学の置かれた立場を身をもって経験しました。即ち、研究面での環境は国立と比べてとても満足とはいえませんし、特に教育重視を叫ばれる中にあり、入学して来る学生層は個性を持ち、それぞれに対応を迫られます。とてもつらい時期ですが、幸い教職員の皆さんの協力を得て、少しずつですが、対応できる兆しが見えてきました。この大学で多くの方々と交流がもて、沢山のことが学べたことに感謝しています。私自身は残る人生を、原爆被爆者の一人として、平和公園に立ち、広島を訪れる中・高の生徒さんたちと平和を考える「語り部」になろうかと思っています。広島国際学院大学の発展を祈ります。

## 学長就任にあたって

「機構改革から意識改革へ」

いまむら あきら  
今村 詮



今日、日本の大学を取り巻く情勢はすこぶる厳しいものがあります。昨年より、国立大学が独立法人化され、私立大学と同じ土俵に入ってきました。これからは、特色ある大学のみが生き残れる自由競争時代になります。本学を取り巻く環境も一段と厳しさを増してきています。この厳しい時期に、本学の学長に任命され、強烈なPressureを感じずにはおれません。しかし引き受けた以上は、この厳しい状況をのりこえて本学の生き残りを図るために全力を尽くしたいと考えています。

勿論このような厳しい時代が来ることは、予測されたことであり、その対応策もいろいろ考えられてきました。すなわち現代社会学部の創設、ついで情報学部の創設、さらに工学部にはバイオ・リサイクル学科、情報学部には情報デザイン学科が新設され、それと呼応して基礎教育を充実するための総合教育センターが創設されています。このように、組織が整備されたので、次は組織の活性化ということになります。それはまさにその組織を動かす人の意識の問題になります。すなわち学生の目線に合わせた教育をおこなわねばならないという強烈な意識を持つことです。この意識の改革を全教職員が出来るかどうかの本学生生き残りの成否を決定することは明らかです。武田信玄も言うようにまさに、「人は城、人は石垣、人は堀」です。全教職員のご協力を熱望いたします。



## 現代社会学部長就任にあたって

いそべ たくぞう  
磯部 卓三

開設から今日までの6年間、現代社会学部をリードしてこられた新陸人先生が3月で退かれ、私が学部長を引き継ぐことになりました。

現代社会学部は、課題探求型の人材育成という目標を掲げてきましたが、この教育理念は今ますます重要になっているように思われます。知識や情報は急速に入れ替わります。そのような状況のなかで重要なのは、知識の量ではなく、問題関心に基づいて自分で情報を集め、まとめる力です。自由に発想し、自分で調べ、人びとと協力して問題解決にあたる実践的な人材の育成——開設以来のこの目標を目指してこれからもがんばります。

現代社会学部では、3月に3回目の卒業生を送り出したところです。これまでの卒業生の就職先はさまざまですが、それぞれの職場での評判はなかなかよいようです。これからは、卒業生の経験をフィードバックし、教育に活かしていくことが大切だと考えています。

平成18年度から、現代社会学部は、コース改編を中心にリニューアルいたします。今後とも、みなさまのご理解とご支援をお願いいたします。

## 自動車短期大学部長就任にあたって

たかぎ としあき  
高木 俊昭

自動車短期大学部長を拝命するに当たり、40年の歴史と各界で活躍されている7,000名を超える卒業生によって築かれた自動車短期大学部に対する社会の評価を一層高める責任を強く感じています。文部科学省が大学の事前審査から事後評価に姿勢を大きく転換したのを受けて、短期大学に対しても、短期大学基準協会などの学外の第三者による審査で多角的な評価が行われようとしています。本学部は平成19年度にこの審査を受ける予定にしていますが、そのためには、少なくとも今後3年間を見据えた中期計画の策定と着実な実施が必須だと思います。

これまで、2級自動車整備士の国家資格の合格率と就職率の高さを本学部の大きな魅力としてPRし、志願者確保の目標は達成できてきましたが、志願者年代人口の減少傾向、好不況による高校生の就職率の振れ、他の高等教育機関の志願者確保への攻勢などの環境変化は、更なる魅力作りを急ぐ必要性をクローズアップしました。魅力作りには奇策はなく、地道な方法の定着に尽きると思います。全教員が分かり易い授業をこれまで以上に意識的に実行することで授業内容への興味をかき立て、学生自ら学び社会で評価される力を付けることが、回り道のように見えて実は近道なのではないかと思うのです。本学部で学生生活を送ることによる、学生の、学生の家族の、出身高校の、就職先の満足度を確かなものにし、ひいては本学部教職員の満足度を高める好循環を目指したいと思いますので、ご支援の程、よろしく申し上げます。



## 高等学校長就任にあたって

ながの まさよし  
長野 政義

このたび、鶴井淑弘校長先生の後を引き継ぎ第9代校長に就任することになりました。創立77年の歴史と伝統を持ち、卓越した見識と指導力のある歴代の校長先生方の後を受けることはまさに身に余る光栄であるとともにその任の大きさに身の震える思いがします。さて、少子化が進行する中で各私学は「特色ある学校」「選ばれる学校」をめざしての取り組みをすすめています。少子化という大きなうねりの中では大海に漂う小舟のようなものではありませんが、本校の取り組みは社会に認知され期待される学校になりつつあると確信しています。学院、PTA、同窓会、地域関係者等の心強い支援と、目的に向かい一丸となって取り組む教職員集団はともに本校の誇りであり、前進するための大きな力になっていると思います。今、「人との様々な触れあいから呼び起こされる感動が成長の原点である」の教育指針をより具現化する取り組みを進めています。「感動する心」「感動を得る努力」を教育方針に掲げ、すべての教育領域においていかに感動が得られる取り組みができるかを考えています。本校に入学してくる生徒たちが高校3年間より多くの感動を得てほしいと念じつつ、微力ながら努力していく決意であります。

# 最新の研究成果を取り入れ 有為な人材を育成

工学部

## スイスのリサイクル産業

—広島県スイスミッションに参加して—

バイオ・リサイクル学科 教授 <sup>えんどう</sup> 遠藤 <sup>としろう</sup> 敏郎



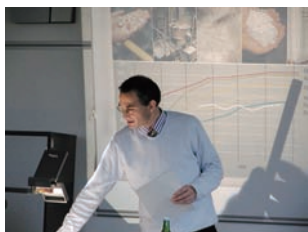
CTU社、サイクロン

広島県商工労働部・国際ビジネス促進室とジェットロ・ジュネーブが企画した環境ビジネスに関するスイス・ミッションに参加する機会を得た。本年度は、環境・リサイクル産業に携わる8企業と合わせ、20名を超えるミッションとなった。

11月7日、関西空港からフラン

クフルト経由でチューリッヒに到着。チューリッヒ、ツーク州、インターラーケン、ベルン、ローザンヌ、ジュネーブ等の企業の技術を視察するとともに、スイス連邦政府の環境局を訪問。13日帰路に着いた。

スイスCTU社が自動車完全リサイクルセンターを企画しており、CTU社の技術視察が金子康紀氏(LEEA、本学客員教授)と筆者の大きな目的であった。ローザンヌとジュネーブの自動車解体技術を視察した際には、ジェットロ・ジュ



スイス連邦政府、環境局で

ネーブから通訳と公用車の手配もいただいた。連邦政府の研究機関であるPSIは、バイオマス等のエネルギー利用を本格的に展開している。CTU社が建設中の高温ガス化システム(サイクロン)はPSIとの研究をベースにしており、日本でもそうだが、高温ガス化システムはこれからの主流になるであろうとの印象を強くした。この点については、私見も含めて別の場で報告したい。

毎朝8時にはホテルを出発し、夜8時に戻るというハードスケジュールであった。それでも夕食では皆さんとの会話を楽しみながら、おいしいワインとスイス料理を満喫させていただいた。



チューリッヒでの夕食会

## デジタル第一種合格を目指して 教え合えば苦手科目も得意に！

メディア情報通信学科3年 <sup>ひらの</sup> 平野 <sup>りゅうじ</sup> 竜司

私の所属する松尾研究室でデジタル第一種の「基礎」に科目合格するために、みんなで勉強することになりました。ちなみに、デジタル第一種には「基礎」「技術」「法規」の3科目があります。



まず図書館で参考書を借りることにしたのですが、最初はどの参考書で勉強をすればいいのかわかりませんでした。しかし研究室のみんなに聞いて回り、自分の勉強の仕方に一番合うものを選ぶことが出来ました。そして週に一回、研究室のみんなに先生に教えてもらいながらたくさん問題を解き、問題の傾向を覚えました。

「基礎」は電気回路、電子回路、論理回路、伝送回路、伝送技術の5つの項目があります。私は論理回路が苦手でしたが、みんなで教え合う内に逆に得意になりました。これからデジタル第一種を受けようとしている人は問題をたくさんこなし、傾向を覚え、苦手な項目があれば友達と一緒に教え合うことが大事だと思います。

とにかくガンバレ！

## 「人気のアスレチック設備」—教育特別経費で設置

総合教育センター保健体育教育部会 教授 <sup>むら</sup> 武良 <sup>てつふみ</sup> 徹文

**本学の体育館** 体育館は1980年に建設された。同年、学生の筋力トレーニングのための機器としてコンビネーションジム(6種目付)機器が導入された。それから現在まで、様々な機器を補充しながら利用されてきたが、機器が老朽化した上に壊れた機器の利用は危険でもあるため、トレーニングルームの利用はほとんどない状態であった。ここ数年の筋力トレーニングのブームもあって、新規機器の購入が望まれていた。その結果、教育特別経費(2002・2003年度)がトレーニングルームの整備に充てられた。

**新しい機器** 14種類(17台)を新規に購入した。マシンで走りたい人はランニングマシン(高水準トレッドミル:ラポードX70HRは平地と坂のランニングと速度調整可能)を使用する。マシンの表示板は速度・時間・距離・消費カロリーを表示し、個人能力の違いを把握しながら利用できる。5分も走れば汗だくである。心肺機能を鍛えたい人にはバイク(コードレスバイク2台:V70iは速度・時間・距離・消費カロリー付)をお勧めする。上半身を鍛えるには、チェストプレス、フライ、ベンチプレス2台、インクラインプレスなどの器具を使用する。下半身を鍛えるには、レッグカール、レッグエクステン



楽しくトレーニング  
(ランニングマシン)

ワーキングホリデー自分編



情報工学科4年 <sup>にいだに</sup>二井谷 <sup>のぼる</sup>昇

大学生活という貴重な時間の中で何か大きいこと、やりたいことを思い切りやってやろう！ワーキングホリデー制度を利用して9ヶ月間、挑戦心と好奇心のみを胸に、僕は単身オーストラリアへ行ってきました。

主に語学学校などに通って英語を勉強したのですが、まず一番にぶつかったのは言葉という壁でした。英語は当然日本で準備を進めてきたつもりでしたが、全く聞き取れず、理解してもらえないという有様。いきなり大きな挫折を味わいました。そこで感じたのはやはり英語の必要性でした。そして英語を勉強していく中で、その背景にある文化的な部分まで感じ取れるようになってきたのです。英語はWhyとBecauseの文化であると言われますが、どんなに発言してもWhy?に対してすぐに答えられない人は自分の意見を持ってない人だと判断されるのです。それは僕にとっては新たな発見であり非常に興味深いものでした。

その他、ブドウ農園での長期住み込み労働や日本語教師アシスタントのボランティア活動にも携わり、スポーツやアウトドア活動も数多く経験しました。これらを通して本当にたくさんの人たちと出会い、互いに影響されながらも精一杯自分を出せたように思います。

他人の体験談を聞くことも為になりますが、自分自身の肌で味わった感動は人間を大きくすると思います。今回僕をサポートしてくれた家族や先生方、友達への感謝を忘れずこれからも概念にとらわれず挑戦していけたら楽しいと思います。

第4回教育講演会

「ピクサー/ディズニーと宮崎駿に見る  
アニメ映画の技術的進歩と今後の展開」



講演会

1月27日、本学のマルチビジョン教室で情報デザイン学科主催、おもしろ企画委員会後援の教育講演会を開催した。今回は、2ヶ月に1度立町キャンパスで開かれる市民交流プログラム「シネマトーク」で毎回講師をしてくださるシネマエッセイストの鈴木由貴子先生にアニメーション映画の話をしていただいた。情報デザイン学科は今年度開設された学科であるため1年生しか在籍していない。特にアニメーションに興味ある学生が多数存在するが、1年生の講義ではアニメを語ることも、また作成することもしていない。そこで、今回は映画におけるアニメーションを見ながら講演をしてもらう企画を実施した。日ごろからアニメには興味があっても、映画となると観る機会が少なくなっているのが現状で、大きな画面での最新のアニメを参考に、アニメの進歩について語ってもらった。講演後の茶話会で鈴木先生と最後まで話をしていた学生もいた。映画・アニメに対する学生の情熱が感じられる講演会であった。

ション、レッグプレスなどを使用する。猫背矯正には、ハイパーリー、ロープリー、ローマンベンチなどを利用すれば可能である。ウエストを細くしたい人はシットアップマシーンを試していただきたい。

**安全管理体制：2台のネットワークカメラによる監視システム** トレーニングルーム天井にネットワークカメラを2台設置し、ほとんどすべてのトレーニング機器を見ることができる。カメラはズーム可能で、回転させて表示場所を変えることができる。4階の研究室にあるコンピュータ上に監視画面を2つ同時に表示し、利用者の様子を見て安全性を確保している。利用者は、カメラが動くことで見守られていることを認識し、安心してトレーニングに励んでいる。

**利用者** 最初のうち、授業以外ではクラブ活動が主な利用であったが、1・2年生授業の効果で多くの一般学生が年間を通して自由時間に利用するようになった。教職員は昼の休憩時間に多数が利用しており、とりわけ日曜日開放はOBと教職員に人気である。

**運動の効果** 運動の効果は継続して初めて得られ、それが自信となってさらに意欲がわき、身体機能の維持・向上に結びつくと思われる。

☆ トレーニングルームの利用をお待ちしています ☆



楽しくトレーニング(バイク)

# 夢に向かい日々努力を重ねる

現代社会学部

## ひとはなぜ着飾るのか? — 服飾と心理 —

放送大学で講師を務める ☆☆4月から放映開始☆☆

現代社会学部 教授 なかがわ さなえ  
中川 早苗



放送大学「生活と福祉専攻」で、平成17年度から4年間で開講する科目『服飾と心理』を担当します。今回は私が担当する講義の概要と広島国際学院大学で開講している関連科目について紹介したいと思います。

### 『服飾と心理』の講義概要

私たちはいつも他者とコミュニケーションをはかりながら社会生活を営んでいます。どこへ行くにも誰に会うにも絶えず身体とともにあり、言葉にもまして着る人を雄弁に語る服飾は、他者の目にも快く映り、自分の心にもやさしく気持ちのいいものでなければなりません。誰もが自分らしく心豊かな生活を送るために、人が服飾に求める心理や、服飾が集団や社会の中で果たす役割、さらには服飾の記号としての意味を明らかにし、人間にとって服飾とは何か、時代や社会が望ましいとする服飾とは何か、人は服飾によって何を表現しようとしているのかなど、服飾を人間と社会や文化との関わりで学ぶのが講義のねらいです。

### 広島国際学院大学で開講している関連科目

現代社会学部では、専門科目で「流行論」と「ファッション文化論」を開講しています。また総合教育センターでは、平成16年度から「ファッション論」を開講しています。これらの科目は、単位互換の科目として広島市内他大学の学生も聴講できます。

## わが町の「みどころ」一枚に

### 官民学協働：安芸区と提携し地域住民と協力して行なったマップづくり

現代社会学部 助教授 いけもと よしのり  
池本 良教



ワークショップ

本学の授業を地域と連携して実施する試みとして、広島市安芸区が募集した「マップづくりの会」に昨年度から協力。質的・量的調査活動をふまえながら地域のマップづくりを進めてきた。広島市では「魅力づくり事業」と銘打ち自然や歴史、町並み、施設、行事などの地域の特性や資源を生かした様々なまちづくりを進めている。事業の一環である「安芸区草の根の地域交流」で行われた「まちあるきガイド・マップづくり」に「社会調査実習Ⅰ（池本班）」の授業で取り組んだ。

昨年度は、瀬野地区・矢野地区と熊野町の3地区、今年度は、矢野地区と海田町・坂町の3地区の住民の皆さんと協力してきたが、その成果を地域に公表する機会として、2月12日に立町キャンパスにおいて「大学と地域の協働によるまち歩きマップづくり発表会（調査実習報告会）」を開催した。発表会では、資料づくりとアンケート結果の報告を本学部学生が、資料を使つてのマップの内容紹介を地域住民が担当した。安芸区長からは講評をいただき、学生の地域参加と協働の取り組みを高く評価され、こうした取り組みの継続に期待が表明された。



発表会





2月2日(水)～4日(金)の3日間、国内の全自動車メーカーの系列ディーラーおよびヤナセの会社説明会が、現代社会学部の300人教室で行われた。県内だけでなく、山口、島根、四国の会社も参加し、優秀な学生を早く採用したいという意気込みが感じられた。1年生のほとんど全員が、黒髪にリクルート・スーツといういでたちで出席。

希望の会社の特色や訪問日程などを真剣にメモしていた。最初と最後の挨拶は学友会役員の号令でビシッと決めて、求人側の受けもよかった。このあと本格的な就職活動に入る。



## 今年度の就職、進学の実績と 今後の教育・指導方針を説明

### ——保護者懇談会開催——



2月19日(土)、保護者懇談会が開催された。1年生の50名の保護者が参加し、遠くは鹿児島からも見えた。全体会では今年度の実績と今後の教育・指導方針の説明がなされ

た。新年度からは

- ① 学生による授業評価
- ② 企業からの要望
- ③ 卒業生からの要望

を加えてわかりやすい授業や実践的なしつけ教育を目指すとの説明に、保護者も納得された様子であった。続いて個人懇談会に移り、学生の学習状況や進級の可否、就職活動等について話し合った。保護者らは一安心した表情で帰られた。

## 専攻科初の修了生巣立つ

平成15年4月新設された専攻科の第1期生4名が無事修了式を迎えた。本科を修了すると一級自動車整備士の実技試験は免除されるが、学科試験と口述試験が控えている。このほど、毎年受験者の数%しか合格しない学科試験を受験した。合格の吉報を待って5月の口述試験に挑むことになる。



### 在学生の手記

## 自動車を通じて中国と日本の架け橋になりたい

自動車短期大学部2年 **きん 国**



京都旅行にて(右端が筆者)

私は中国で日本の生活や文化に非常に強い関心を持っていたので、外国語は迷わず日本語を取りました。それだけでは済まなくなり、どうしてもこの目で確かめたいと3年前、中国からやって来ました。最初の年は学校には行かず、アルバイトをしながら、そこで働く先輩達を通して日本人の風俗・習慣や文化、経済を必死になって勉強しました。日本の生活や文化がある程度わかると、自動車に大きな興味を持ち始めました。街中では非常に多くの自動車が走っています。日本人の生活にはなくてはならない存在になっているように思います。中国も自動車産業が急成長しているのを思うと、これこそ自分がやるべきことだと思い、迷わず本学に入ることを決意しました。

自動車の整備技術だけでなく、開発や設計などの知識も学んで、将来、中国にも日本にも貢献できればと思います。頑張っています。

※4月より広島国際学院大学工学部に編入学



琴の弾き方も教わりました

### 留学生・シャノンさんから帰国メッセージ

みなさんのおかげで日本語がうまくなりました。広島弁も分かるようになりました。茶道と琴を習い、少しでも日本の文化に触れることができ、日本のマナーも覚えることができました。琴の音はとてもきれいですごく好きになりました。日本に来てとても太りました。日本の食べ物はみんなおいしいからです。特に、私のホストファミリーの料理は最高でした。いろいろ楽しい思い出ができました。みなさん、どうもありがとうございました。是非、オーストラリアに来てください。私、待っています。



楽しい思い出ありがとう

※シャノン・トンプソンさんは長期留学生としてオーストラリアから昨年4月に来日。約1年間の留学期間中には日本語の他、広島の歴史や日本音楽にも親しんだ。本校の生徒や先生方、ホストファミリーとも積極的に交流し、今年1月8日帰国した。



グアムの青い海

## グアムでダイビング満喫!

去る10月16日に、4コースに分かれて修学旅行が実施されることになっていた。しかし、運悪く台風が襲来し沖縄上陸という思いも掛けない事態が生じた。日程を繰り下げての強行実施も検討されたが、安全性を考えやむなく沖縄コースは中止となった。ダイビングを楽しみにしていた生徒たちの落胆は計り知れないものであった。そこで目的地をグアムに変更し、12月13日から4泊5日の修学旅行を改めて実施することになった。参加した生徒たちは、グアムの青く澄んだ大海でのダイビングを満喫した。季節はずれの日焼け顔が生徒たちの満足を表していた。

## 2005年度一般入学試験行われる

### 県下最多の受験生が挑戦!

まだ寒さの残る2月21・22日、2005年度一般入学試験が実施された。今年度も1,700名余が挑戦した。試験開始2時間以上も前から来場する受験生も。正門前では中学校や塾の先生方が受験生を迎え、一人ひとりに激励の言葉を掛けていた。受験会場を知らせる中庭は、受験生で溢れかえっていた。受験生たちは、緊張の面持ちで試験に挑戦していた。



入試に挑戦

## 第56回 卒業証書授与式



卒業式

### 晴々と未来に向かって羽ばたく383名!

春の日差しも穏やかな3月1日、第56回卒業証書授与式が本校体育館で盛大に挙行された。吹奏楽部の奏でにのり入場してくる卒業生は晴々とした表情。その胸には保護者たちが手作りしたコサージュが誇らしげに咲いて、この門出を祝福している。卒業生の名前が呼ばれ式は厳粛さを増していく。式の後、友達や恩師、保護者らとあちこちで記念写真を写し、いつまでも別れを惜しんでいた。卒業証書を手にした383名の若者は未来に向かって羽ばたいていった。



私は広島電機大学附属高等学校（現広島国際学院高等学校）を経て昭和56年3月に広島電機大学（現広島国際学院大学）を卒業し、社会に旅立った者の一人です。

高校時代は電気コースに在籍し、中学時代から興味があった電気について学びました。また部活動では、柔道部に籍をおいて3年間汗を流しました。どちらかと言えば高校時代の3年間は部活動中心で、精神面の鍛錬の場であったような気がします。中学から始めた柔道も初段から卒業時には二段へと進み、充実した高校生活でした。

大学進学に当たっては、経済的な理由から読売新聞の奨学金制度を活用しました。新聞配達と集金の業務をこなしながらの勉学生活でした。大学では電気工学を学びましたが、取れる単位は全て修得しようという意気込みで学んだように思います。当時は選択科目であった教職課程を履修し、母校に帰り教育実習をした思い出もあります。今思えば、当時

の体験が現在の職業（広島工学院専門学校電気・デジタル通信学科講師）に就くきっかけになったのかもしれませんが。また、この頃で特に思い出されるのは、第三種電気主任技術者（電験三種）の取得を目指し勉強を始めたことです。在学中に二度受験し、二度とも不合格でした。とても悔しい思いと同時に、いつか必ず合格するという志を強く抱かせた時期であったように思います。

卒業と就職をした昭和56年、三度目の試験に挑み、念願叶って合格することができました。この年は仕事を覚えることが優先で十分な受験勉強ができなかったものの、大学時代の経験を活かしました。このときの嬉しさは今も忘れられません。

その後転職を経験する中で、さらに上位の電気主任技術者を取得したいという気持ちが高まってきました。八度受験した末、平成元年に第二種電気主任技術者（電験二種）に合格できました。福岡通産局（現九州経済産業局）での二次試験は口答で行われました。その時の質問は原子力発電所の種類や静止型無効電力供給装置についてでしたが、私は緊張の余り、試験官に誘導されながら必死で答えた覚えがあります。またこの頃勤務先の会社では、電験二種取得をきっかけに工場の電気主任技術者を任されました。当時は珍しい自家用発電設備の常用運転に携り、発電機間の有効横流や無効横流の影響などを実地で学ぶことができ、専門知識をより深める上で役立ちました。

その後さらに8年が過ぎた平成9年に第一種電気主任技術者試験（電験一種）に合格し、19年にわたる電験取得の日々が終わりました。気づけば私は38歳、歳月の長さを感じました。

私は「継続は力なり」という言葉を信じ、いつかは自分も合格できると信じて19年間を過ごしました。電験二種から電験一種へのチャレンジでは何度か諦めかけましたが、人並み以上に受験勉強に時間を費やしたため、逆に「諦めることができなかった」というのが正しかったのかもしれません。その中で感じたことは、「基本を確実に学ぶ」ことの大切さです。難しい問題であればあるほど基本に沿って確実に解く、このことを最後の電験受験で学ぶことができました。

私は幸いにも電気に関する基本を高校で学び、大学で専門的知識を学ぶことができました。さらに高校時代の部活動や新聞配達を通して受験し続ける精神力を得ることができ、電験一種の取得にもつながったと考えます。

九州に在る短期大学への進学を考えていた私に、奨学金制度の活用と大学進学を助言してくださった高校時代の担任の先生の一言もプラスになったと今は思います。高校・大学の7年間を本学院で過ごしたことに改めて感謝申し上げます。

私は電験二種の受験勉強を始めて、電験三種の力が身についたと感じました。幸いにも電験一種に合格した今、更なる努力をしなければ本当の力は身につかないと感じています。

卒業後23年経ち、学院の益々の発展を陰ながら祈ると共に、私自身も卒業生の一人として、諸先輩方に負けないようにこれからも頑張らなければと考えています。



職場での錠本さん

本研究室では、原子炉やジェットエンジン等で用いられる高温用構造材の強度研究を中心に実験を行い、高温多軸疲労試験機やクリープ試験機等、多くの試験機や計測機器類が設備され、MARCやDesignSpace等の3D強度解析ソフトも有している。

近年、本研究室を希望する卒業研究生たちの大部分は、複雑な試験機や解析装置を駆使して行う研究やそれから得られる多くの知識や技術の重要性を頭の中で理解しても、気持ちの方が余り関心を示さないようである。本研究室では1年次の物造りの授業『機械工学基礎ゼミナール』で「小型エンジンの組立て」を行っている。その関係もあって、「卒業研究で車を作りたい」という希望が圧倒的である。



研究室にて

機械工学科へ入学してくる学生の多くが「車を作りたい」とか「車関係の職に就きたい」という希望を持っている。学生の要望に答えてバイク等のエンジンを用いた車作りを卒業研究で始め、今年度は4台目の車の試作中である。卒研生たちは、講義や実験・実習で車に関係することを多く学んできている。しかし、いざ車を作ろうとなるとほとんど何も解っていない。たとえばハンドルを取付ければ車は向きを変えてくれるような感覚でいる。ボルトの締め方さえも心許ない。「車を作りたい」という希望は単に「格好の良い車に乗りたい」だけかなと疑いたくなることもある。このような状況下でスタートした「車作り」も、車の構造がそれなりに理解でき、3D-CADを用いた構造設計と強度解析が終わり、何とか動く車ができた頃に卒業を迎える。毎年、毎年が一からのスタートで、毎年同じことの繰り返しである。



卒研風景



## 工学部 機械工学科

うめ だ ひろし  
梅 田 洋 研究室

## 高温用構造材の強度研究



## 情報学部 情報工学科

いけ ぼう しげ や  
池 坊 繁 屋 研究室

## 強化学習とネットワークの理論・応用



ゼミ生と一緒に(前列左が筆者)

本研究室は、昨年4月から新しく新設された情報学部発足時にスタートした。本研究室では、強化学習に関する理論的・応用的研究やコンピュータネットワークに関する理論的・応用的研究を中心に行っていきたくと考えている。

強化学習とは、学習者による試行錯誤的な行動と学習対象からの報酬などによる相互作用に基づく学習である。強化学習の分野はさまざまな方向へ進展し成熟を続けながら発展を続けている。今日では、機械学習、人工知能、ニューラルネットワークなどの領域でも活発な研究が行われている。いかに簡単な方法で効率よく学習していくかが重要となってくるが、その計算的アプローチの数学的な解析あるいは計算機実験によりその性能を評価する。一

方、コンピュータネットワークも、インターネットの普及に伴いさまざまな分野へ発展を続けており、我々は、ネットワークの構築方法、通信技術、管理方法などに興味を持っている。

本研究室では、初年度、4名の学部生が所属しており、有効な資源を1つの仮想計算機にみたくて並列計算を行うことができるGridコンピューティング、仮想的なプライベートネットワークを提供するVPN、無線LANなどに関する研究を行った。今後は、このようなシステムを用いて強化学習の計算機実験を行っていくなど、新しい知識も取り組みながら学生諸君と共に研究に励んでいきたいと思っている。



コンピュータシステム

# の 紹 介 ● ● ●



研究室での筆者

私の研究室を訪れる方は、そこに置かれている本を見て、「先生は何を教えておられるのですか」とよくお尋ねになります。もちろん学生達は、受講者であればのことだが、一番よく知っているはずです。私は上瀬野キャンパスに現代社会学部ができると同時に中野キャンパスの工学部から移って来て、現在、哲学、倫理学、宗教学、社会倫理学の四科目とゼミを担当しています。これらの異なるジャンルの講義を担当する関係上、異種の書籍が混在せねばならぬのです。

旧制の高等学校、大学では、これから何を専攻するにせよ、まず哲学系の学問に取り組んだ若者が多かったと聞きます。そこで世界を、人間を真剣に問い、学んでいったのです。お酒が少し入ると若き日を追懐し、そのような学びの日々があったお蔭で今日まで生きて来た…というのです。

私自身は初め法律学を学び、後に大学院で仏教思想を学ぶ中から、鎌倉期に異彩を放った親鸞に出会い、その思想を研究するようになりました。その延長線上に、また隣接するところに哲学、倫理学、宗教学等の学問があり、それらの講義を担当することになったのです。我々の社会は急速に世界化が進み、隣の住人がキリスト教文化の中で育った欧米人であったり、イスラム圏の人であったり、あるいはヒンズー教徒であったりすることも珍しいことではなくなりました。将来、どこの世界で仕事を、生活をするようになるかわからぬ学生達と、共に宗教学を学ぶことは大事なことだと思うのです。また、社会倫理学では、いじめの問題、生命倫理の問題等々、今日の社会で万民の等閑視できぬ問題を取り上げて楽しく学んでいます。

## 未来を担う若者と共に宗教学を学ぶ

## 現代社会学部

かきもと りかい  
栂本理海 研究室

## 音の情報処理に関する研究

## 大学院

工学研究科電気工学専攻2年 だて たか ゆき  
伊達隆幸



伊達さん

私の研究は、雑音中で必要とする信号を検出する方法に関するもので、現在は2種類の音響信号を対象としています。

その一つは、騒音中で室内に流される楽音成分を検出する方法に関するものです。ひとり暮らしの老人の安否を確認する方法としては電気ポットの操作などが使われていますが、この研究は人が動くことによって空間の音響特性が変動することに着目したものです。この研究結果の一部は、昨年秋に山口大学で行なわれた電気・情報関連学会の支部大会で発表しました。

他の一つは風力発電所の騒音検出です。近年、風力発電所の急速な普及とともに、これが発生する騒音が新たな環境問題として浮かび上がっています。その騒音を計測する必要がありますが、自然風による風雑音が混入してしまいます。この風雑音の低周波成分は、大型の風防を用いても除去することが難しく、ソフトウェア的な信号処理が必要となります。現在は、3次元風速計で得られた風速情報を利用して混入風雑音の大きさを推定し

て、風雑音を除去する方法を研究しています。野外での実験（最近は大分県瀬戸町のウインドヒルまで出かけます）で得られたデータ解析が基本ですのでこれからの実験と解析に苦勞しそうですが、楽しくがんばっています。



▲ 風力発電所 ▼



解析風景

平成16年度

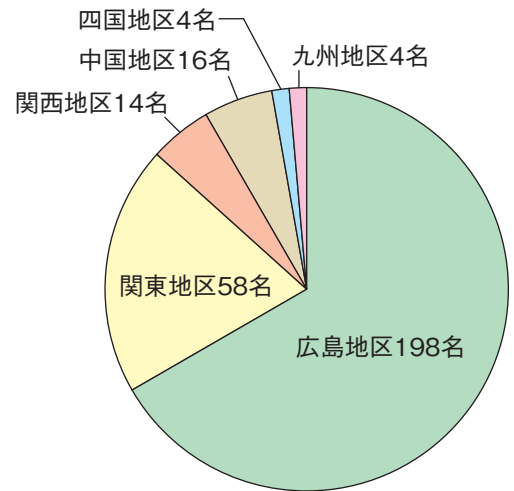
# 広島国際学院大学進路状況

平成17年3月19日現在

- ・ 厳しい国際競争のもとで企業が求める「目標達成能力」、「問題解決能力」のある人材の育成に努めています。
- ・ 従来から元気で実践力のある学生を育てており、実社会での活躍が評価され毎年10倍以上の求人倍率による高い就職率を達成しています。
- ・ 就職模擬試験をはじめ面接・作文の指導など、学生の就職状況を就職部と教員がきめ細かくサポートします。

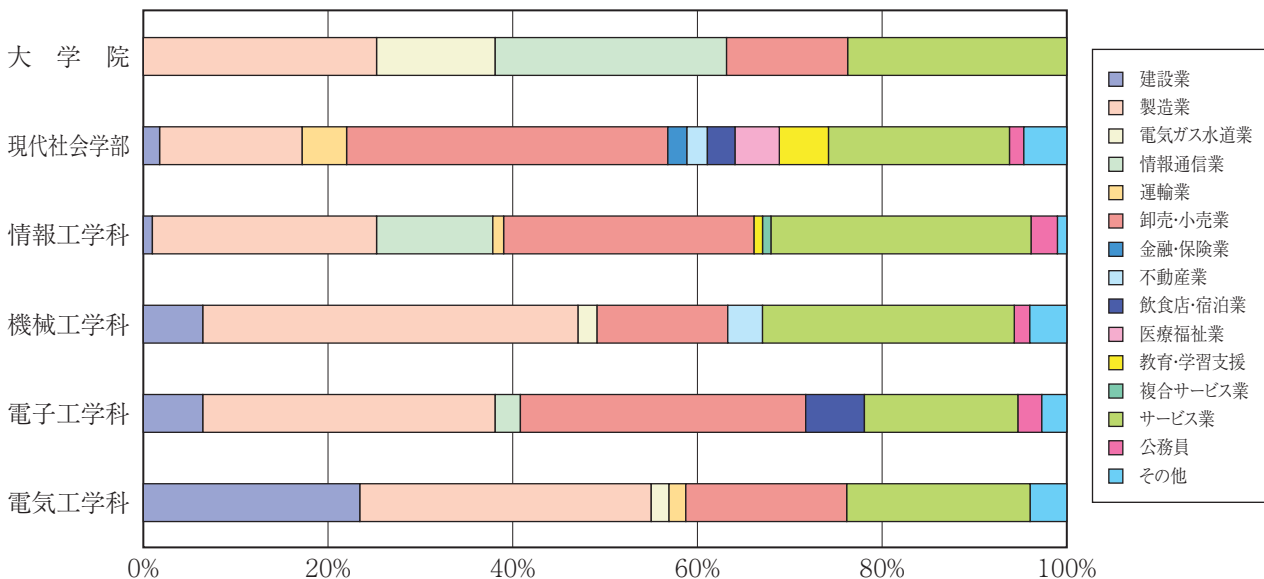
## 進路状況

項目	電気工学	電子工学	機械工学	情報工学	工学部計	現社部計	大学院	
卒業・修了者総数(人)	70	47	65	103	285	88	17	
就職希望者数(人)	60	39	51	78	228	83	16	
採用内定者数(人)	60	37	47	73	217	69	8	
就職率	100%	95%	93%	94%	96%	84%	50%	
就職率(前年度)	96%	88%	97%	94%	94%	80%	72%	
進学	3	1	4	6	14	2	1	
求人状況	会社数	1,400	1,351	1,398	1,307	1,472	1,180	429
	求人数	1,511	1,436	1,532	1,365	5,844	1,210	635
	求人倍率	22倍	31倍	24倍	13倍	21倍	14倍	37倍



地区別就職先

## 業種別就職状況



平成16年度

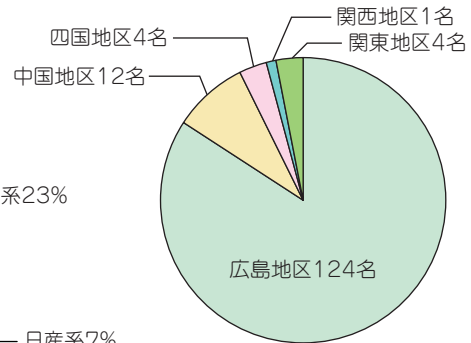
# 広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

平成17年3月19日現在

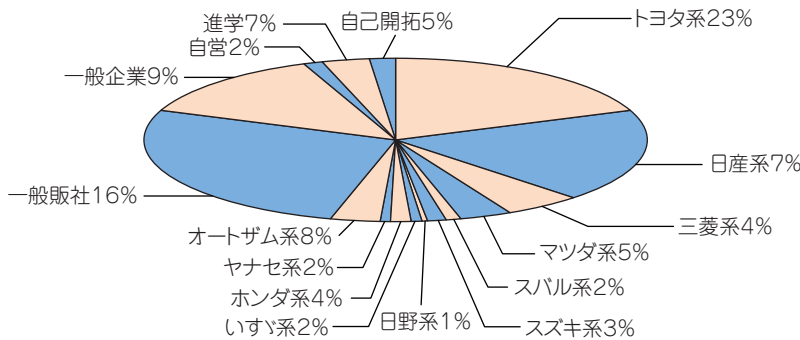
## 2004年度進路状況

卒業生数	153名
就職決定者/希望者	134名/134名
進学決定者/希望者	11名/ 11名
自己開拓	8名

## 地域別進路状況



## 卒業生の進路内訳



平成16年度

# 広島国際学院高等学校卒業生進路状況

平成17年3月19日現在

学 科	性別	在 籍	進 学				就 職					
			大 学	短 大	専 門	未 定	県 内	県 外	公 務 員	自 営	自 己	未 定
総合システム科	男	59	29	5	6		16		1		2	
	女	3			2		1					
普通科	男	167	97	5	23	34	8					
	女	154	41	42	41	21	4				5	
合 計		383	167	52	72	55	29	0	1	0	7	0
		%	90.3				9.7					

## 主な進学先（合格先）

広島大・山口大・島根大・愛媛大・高知大・電気通信大・広島市立大・香川県立保健医療大・愛媛県立保健大・広島国際学院大・広島国際大・広島修道大・広島経済大・広島女学院大・広島文教女子大・エリザベト音楽大・呉大・比治山大・福山平成大・安田女子大・広島工業大・吉備国際大・美作大・岡山理科大・徳山大・城西国際大・東洋大・拓殖大・国際武道大・国立音楽大・実践女子大・金沢工業大・中京大・名古屋造形芸術大・近畿大・関西学院大・関西大・立命館大・龍谷大・摂南大・奈良大・近畿福祉大・大阪電気通信大・大阪芸術大・大阪学院大・大阪明浄大・大阪産業大・神戸学院大・相愛大・阪南大・神戸国際大・兵庫大・聖和大・四国大・福岡工業大・九州東海大・久留米工業大・ヒューマン国際大学機構・福山市立女子短大・鈴峯女子短大・比治山大短大部・広島国際学院短大部・山陽女子短大・広島文化短大・安田女子短大・川崎医療短大・岩国短大・東京農業大短大部・池坊短大・堺女子短大・関西女子短大・香川短大・西日本短大・東海大福岡短大・四国大学短大部・九州女子短大・広島市医師会看護専門・呉市医師会看護専門・県厚生連尾道看護専門・IGL医療専門・IGL健康福祉専門・広島医療保健専門・広島医療体育学院専門・広島YMCA健康福祉専門・広島外語専門・広島健康福祉技術専門・広島高等歯科衛生士専門・広島歯科技術専門・広島工学院専門・県立呉高等技術専門・広島県理容美容専門・広島工業大学専門・広島会計学院・広島情報ビジネス専門・東京アカデミー・広島校・穴吹デザイン専門・広島製菓専門・広島電子専門・広島コンピュータ専門・マイルド美容専門・広島美容専門・大阪リゾート&スポーツ専門・大阪医専・辻調理師専門・辻製菓専門・ハリウッド美容専門・トラジャール旅行ホテル専門・大阪アニメーター学院・京都デザイン専門・京都国際建築技術専門・広島経営学院専門・福岡リゾート&スポーツ専門・福岡ECOコミュニケーション専門・大阪IT会計専門

## 主な就職先

(株)キーレックス・(有)広松・(株)ナガト・(株)光友商企・コベルコ建機(株)・シモハナ物流(株)・(株)シティプラスチック・中国精螺(株)・(株)デオデオ・マツダ(株)・東洋観光(株)・(株)東洋高圧・浜本工芸(株)・(有)戸田造型所・広島エルピーダメモリ(株)・広田工業(株)・(株)ヒロテック・(株)モーツァルト・双葉運輸(株)

# 学院主催第一回中学校軟式野球大会を開く

おめでとう坂中学校!



球音が冷気にこだまする

まだ寒さ厳しい2月11・12日の両日、「学校法人広島国際学院理事長杯中学校軟式野球大会」を初めて開催した。安芸地区14中学校の賛同と協力を得た。約370名の選手に加え、保護者等学校関係者が約200名応援に駆けつけ、総勢600名という盛会となった。

好天に恵まれた第1日目、開会式に集った選手たちの顔も一様に晴れやかである。大学野球場内を元気に行進し整列した様子は、まさに壮観。理事長の挨拶に続いて海田中学校の玉本和資君が堂々と選手宣誓した。大学野球場、高校グラウンド、海田町営球場の3会場で熱戦を繰り広げ、瀬野川東、矢野、坂、熊野東の4中学校が準決勝戦に進出した。

第2日目、曇り空で肌寒い一日だったがゲームは白熱。準決勝第1試合、瀬野川東中学校と矢野中学校は7回を終えてなお1対1の同点。本大会初の特別延長タイブレーク戦となった。結局矢野が5対4で瀬野川東を下した。

続く第2試合では熊野東中学校と坂中学校が対戦。実力は伯仲しており互角の戦いが予想されたが、坂の作戦が功を奏し6対0で勝利した。

坂中学校と矢野中学校の対決となった決勝戦。1回表に坂がいきなり2点を先取。矢野も粘って4回に1点を返したものの、5回表に再び2点を失う。坂がこのまま逃げ切って4対1で決勝を制し、第1回大会の栄えある優勝に輝いた。両チームとも観客の声援にすがすがしい笑顔で応えていた。

選手の懸命なプレーとマナーは見る者に感銘を与えた。なお、大会運営にあたり大学野球部員が全面的に協力した。グラウンド整備、審判、場内アナウンスなど、ひたむきに取り組む姿と細やかな気配りで選手や保護者の方々を感激させていた。

最後に、本大会の開催にご協力くださった中学校関係各位に厚く御礼を申し上げます。

参加中学校（五十音順） <第2回大会でまたお会いしましょう！>

阿戸中学校、大柿中学校、音戸中学校、海田中学校、海田西中学校、熊野中学校、熊野東中学校、坂中学校、瀬野川中学校、瀬野川東中学校、府中中学校、府中緑ヶ丘中学校、船越中学校、矢野中学校

※中学校軟式野球大会の試合結果などはホームページでご覧になれます。 [http://www.nkc.hkg.ac.jp/~baseball/junior\\_fair/](http://www.nkc.hkg.ac.jp/~baseball/junior_fair/)



優勝トロフィーは坂中学校に

## 「立町キャンパスクリスマスフェア」

### クリスマスフェア実行委員会

12月18日(土)、本学立町キャンパスにて工学部・情報学部主催のクリスマスフェアを開催した。子供から大人まで、楽しみながら本学の雰囲気に触れていただくことを趣旨として、両学部5学科と本学地域共同教育研究センターおよび学内ベンチャー企業「カレイドスコープ」が工夫を凝らした出し物を展示・実演した。景品が当たる「福引き」および「スタンプラリー」が会を一層盛り上げた。



賑わうサロン



展示・実演会場も盛況

午前中には推薦入試、AO入試の合格者を対象にした「事前教育プログラム」のガイダンス、夕方には広島国際学院高等学校吹奏楽団の「アンサンブルコンサート」が開催されたこともあって賑わい、来場者は290余名に達した。ご来場いただいた皆様および関係各位に厚くお礼を申し上げます。

この広報誌はホームページでご覧になれます。 <http://office.hkg.ac.jp/~kikaku/kouhou/>